



ワークショップ実施報告書

職員ワークショップ

実施概要

項目	内容
日時	令和5年4月27日（木）14:00～17:00
場所	成田市役所 大会議室（本庁舎6階）
参加者	26名（成田市職員）
目的	<ul style="list-style-type: none">全庁的に取り組む必要がある課題であるカーボンニュートラルや環境配慮に関する職員の知識や考えを深めること総合計画「NARITA 未来プラン」第3期基本計画の策定にあたり、総合計画における「基本方向」の単位で本市として取り組むカーボンニュートラルや環境配慮の取組を整理すること

当日のプログラム

カーボンニュートラルの 概要説明

- カーボンニュートラルの概要や取り組む背景、CO2を削減する取組例等を説明し、知識の醸成を図った
- また、本市の環境分野の主管課である環境計画課より、本市のこれまでの取組を説明した

個人ワーク グループワーク

- 成田市総合計画「NARITA未来プラン」の基本構想の「基本方向（6つ）」の単位で人物像を設定し、人物像の1日の生活を想像してCO2を排出する場面を検討した
- また、CO2を排出する場面に対する改善策を自助・共助、公助の視点から検討した（基本方向ごとの人物像は次のページを参照）

発表・総評

- 各グループからグループワークで検討した内容の発表を行った

職員ワークショップ

基本方向ごとの人物像の設定

基本方向

第1節

安心・安全でうれしいのある生活環境をつくる
(住環境)

第2節

健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる
(保健・医療・福祉)

第3節

地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む
(教育・文化)

第4節

空港の機能を最大限に生かし、
魅力的な活気あふれる都市をつくる (空港・都市基盤)

第5節

活力ある産業を育て、
にぎわいや活気を生み出すまちをつくる (産業振興)

第6節

市民サービスを充実させ、
持続可能な自治体経営を行う (自治体経営)

人物像と議題

- 設定：父（32歳/会社員）・母（31歳/専業主婦）・子（3歳/幼稚園児）の3人家族
- 議題：休日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

- 設定：健康を気遣う働き世代の男性会社員（42歳）
- 議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

- 設定：父（40歳/会社員）・母（40歳/会社員）・子（8歳/小学生、5歳/保育園児）の4人家族
- 議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

- 設定：成田空港で働く男性（45歳）
(手続きカウンターのエリアや入居テナント等を巡回し、管理する職種)
- 議題：平日の1日を想像し、空港内のどのような場面でCO2を排出しているか？

- 設定：農業従事者（男性/50歳）とサービス業従事者（女性/50歳）
- 議題：それぞれの平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

- 設定：自分が所属する部署の部長
- 議題：部内の職員の業務のどのような場面でCO2を排出しているとみているか？

職員ワークショップ

グループワークの結果

<基本方向 第1節> 安心・安全でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）

人物像と議題

- ・ 設定：父（32歳/会社員）・母（31歳/専業主婦）・子（3歳/幼稚園児）の3人家族
- ・ 議題：休日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
<ul style="list-style-type: none">・ エアコンを付けたまま、ドアや窓を開けっぱなしにしている	<ul style="list-style-type: none">・ 開けたら閉めるという意識をしっかり持つ・ 出かける前に一度確認する	<ul style="list-style-type: none">・ エアコンのスイッチと連動するドアの開閉システムへの助成・ スマート家電の利便性を説明する市とメーカー共同の資料の作成・配布
<ul style="list-style-type: none">・ 照明・エアコンつけっぱなしが多い	<ul style="list-style-type: none">・ エアコンを付けている時は、窓やドアを閉める・ スマート家電を活用する	<ul style="list-style-type: none">・ 月々の使用量によって、少ない程日常で使えるポイントの付与・ エコ家電の購入補助
<ul style="list-style-type: none">・ 食材買いすぎて余らせてしまう	<ul style="list-style-type: none">・ 買い物に行く前に1週間のメニューを考えてから行く・ 適量を買う	<ul style="list-style-type: none">・ 市のCook Pad等のアプリの活用・ フードバンクの設立・ 残りそうな食材のこども食堂への提供
<ul style="list-style-type: none">・ 近所の公園に車で行く	<ul style="list-style-type: none">・ EV車やハイブリット、燃費の良い車を使用する・ 歩きや自転車で移動する	<ul style="list-style-type: none">・ エコ自動車購入補助・ 公共施設等にEV急速充電設置・ 自転車を購入する補助金・ ウォーキングアプリを作り、歩数をお金やポイント等に換算
<ul style="list-style-type: none">・ お昼に出来合いのものを買ひ、たくさんゴミを出す	<ul style="list-style-type: none">・ 自炊をする・ 出来合いのものを買うとしても、大皿のものを買って取り分けてゴミを少なくする	<ul style="list-style-type: none">・ リサイクル資源を持ち込んだ市民にポイントを付与する制度の新設
<ul style="list-style-type: none">・ 買い物の度にレジ袋をもらう	<ul style="list-style-type: none">・ エコバックを使う・ 車の中などにエコバックを入れておく（忘れない工夫）	<ul style="list-style-type: none">・ 汚れにくく洗えるエコバックを市で作成し配布

（グループワークの結果より一部抜粋）

職員ワークショップ

グループワークの結果

<基本方向 第2節> 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）

人物像と議題

- ・ 設定：健康を気遣う働き世代の男性会社員（42歳）
- ・ 議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
・ 通勤は車を利用する	<ul style="list-style-type: none">・ バスや自転車を利用する・ 職場の近所に住む、引っ越す・ 在宅勤務を行う	<ul style="list-style-type: none">・ 公共交通網の整備・ 渋滞の緩和、道路の整備・ 省エネ車の導入補助
・ ペットボトル飲料を購入する	<ul style="list-style-type: none">・ マイボトルを持参する	<ul style="list-style-type: none">・ マイボトルで飲み物を購入した際の助成・ 紙の容器等での製造の推奨
・ 昼食で弁当を購入する	<ul style="list-style-type: none">・ 社食を利用する・ 自炊をする	<ul style="list-style-type: none">・ 食堂の整備・ 料理教室講座の開催
・ ネットショッピングを頻繁に行う	<ul style="list-style-type: none">・ 本当に必要か考えてから買う・ リサイクル品などがないか調べる	<ul style="list-style-type: none">・ リサイクルプラザを利用しやすくPR
・ 不要なものはすぐに捨てる	<ul style="list-style-type: none">・ 買う時点で本当に必要か考える・ 友人や親戚などのもらい手を探す・ インターネットやリサイクルショップ等で売る	<ul style="list-style-type: none">・ 不要品（家具、自転車）などを修理して市で再販する仕組みの構築

（グループワークの結果より一部抜粋）

職員ワークショップ

グループワークの結果

<基本方向 第3節> 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

人物像と議題

- 設定：父（40歳/会社員）・母（40歳/会社員）・子（8歳/小学生、5歳/保育園児）の4人家族
- 議題：平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
• 学校で紙資料がたくさん配布される	<ul style="list-style-type: none">• 紙資料は必要最小限とする• なるべく1枚にまとめてムダをなくす• タブレット等の電子媒体を活用する	<ul style="list-style-type: none">• タブレットの活用の推奨• ペーパーレスの啓発
• トイレの電気を消し忘れる	<ul style="list-style-type: none">• はり紙をする• 一人ひとりの意識をたかめる• スマートホーム化に取り組む	<ul style="list-style-type: none">• 太陽光発電の補助金• スマートホーム化の補助金
• カーテンを閉めたままで照明にたよる	<ul style="list-style-type: none">• 自然光など、代用できるものを活用する	<ul style="list-style-type: none">• 健康習慣づくりの支援の推進
• 車で保育園の送迎を行う	<ul style="list-style-type: none">• 電動自転車を利用する	<ul style="list-style-type: none">• 電気自動車の購入補助• 保育園の立地の見直し
• 食事を残す	<ul style="list-style-type: none">• 最初から多くもらわず、おかわり方式にする	<ul style="list-style-type: none">• フードロス活動の取組企業を支援• 学校での食育の取組の推進
• 残業している	<ul style="list-style-type: none">• 仕事の効率化に取り組む• 業務の効率化について考える時間を設ける	<ul style="list-style-type: none">• システム等の業務効率化につながる設備の導入支援• 効率仕事例を紹介

（グループワークの結果より一部抜粋）

職員ワークショップ

グループワークの結果

<基本方向 第4節> 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）

人物像と議題

- 設定：成田空港で働く男性（45歳）（手続きカウンターのエリアや入居テナント等を巡回し、管理する職種）
- 議題：平日の1日を想像し、空港内のどのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
• 早朝から照明・空調を使用している	<ul style="list-style-type: none">• 照明の一部消灯• 服装の見直し（クールビズ・ウォームビズ）• 利用者への協力の呼びかけ• 窓を設け、自然光等を取り入れる	<ul style="list-style-type: none">• 備蓄電力のシェア
• 機内に持ち込めない荷物の廃棄	<ul style="list-style-type: none">• 事前に持ち込み可否を確認する• 問い合わせ窓口の明確化• 航空会社の決まり等を共有、発信	<ul style="list-style-type: none">• 市HPや施設に案内を掲載
• 吹き抜けが多く空調効率が悪い	<ul style="list-style-type: none">• スポット空調等の導入	<ul style="list-style-type: none">• ZEB化に対する補助制度
• 電光掲示板が夜間でも付いている	<ul style="list-style-type: none">• 必要な情報に絞って表示する• 一か所にまとめて表示する• 明るさ調整、時間帯によって消灯する	<ul style="list-style-type: none">• HP等への情報掲載の促進

（グループワークの結果より一部抜粋）

職員ワークショップ

グループワークの結果

<基本方向 第5節> 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

人物像と議題

- 設定：農業従事者（男性/50歳）とサービス業従事者（女性/50歳）
- 議題：それぞれの平日の1日を想像し、どのような場面でCO2を排出しているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
<ul style="list-style-type: none">• 作業場の電気を付けたままにする	<ul style="list-style-type: none">• こまめに消灯する• 暗い時間の作業を減らす	<ul style="list-style-type: none">• 照明にたよらない設計を支援・補助• 節電量に応じたキャンペーンの実施• LED照明購入費用の補助
<ul style="list-style-type: none">• 化学肥料を多く使う	<ul style="list-style-type: none">• 堆肥を積極的に使う	<ul style="list-style-type: none">• 堆肥を活用するネットワークづくり• 有機農業のPR支援
<ul style="list-style-type: none">• 農業廃棄物を燃やす	<ul style="list-style-type: none">• ゴミの分別を徹底する• ゴミの再利用 or 適切な処分	<ul style="list-style-type: none">• 処分費用について補助金• 農業廃棄物のリサイクルの仕組みの整備• 行政が主体となる定期的な回収作業• 違法な廃棄の取り締まりを強化、罰則を強化
<ul style="list-style-type: none">• 食品等の過剰生産	<ul style="list-style-type: none">• 売上の統計を取ることで、生産量や仕入れを調整する• 食品の加工方法の見直し	<ul style="list-style-type: none">• 農作物等の買取（フードロス支援）• 出荷調整しなくても安定した収入がえられるような農家への支援（農業の高収益化）

（グループワークの結果より一部抜粋）

職員ワークショップ

グループワークの結果

<基本方向 第6節> 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体経営を行う（自治体経営）

人物像と議題

- 設定：自分が所属する部署の部長
- 議題：部内の職員の業務のどのような場面でCO2を排出しているとみているか？

CO2を排出する場面	改善策	
	自助・共助	公助
• ゴミの分別ができていない	<ul style="list-style-type: none">• 分かりやすい分別の案内をする• モラルの改善	<ul style="list-style-type: none">• 手間がかからず、ムリなくできる方法を検討する
• 会議で紙を使う	<ul style="list-style-type: none">• 常にペーパーレスや減らす方法を考え意識する• 作成資料を見やすく簡潔に作る• 白黒でも見やすい資料作成	<ul style="list-style-type: none">• ロゴチャット等のシステムを活用する• タブレット端末などの導入• ICT導入のための専門相談窓口の設置• リモートワークの推進
• 部の残業が多い	<ul style="list-style-type: none">• 業務改善を図る• 職員のスキルアップに取り組む• 業務分担・役割を見直す	<ul style="list-style-type: none">• システムの活用の推進• ワークバランスを考えた適正な職員の配置• 業務の外部委託の検討

(グループワークの結果より一部抜粋)

職員ワークショップ

当日の様子

